

定期監査結果報告書

第1 監査の概要

1 監査の種類

地方自治法第199条第1項、第2項及び第4項の規定による定期監査

2 監査の範囲

監査の対象期間中に執行された、財務に関する事務及びその他の事務

3 監査の着眼点

財務に関する事務及びその他の事務の執行が、関係法令等に準拠し、適正かつ効率的に行われているかを主眼として監査を実施した。

4 監査の執行者

代表監査委員 竿 留 一 美

監査委員 浅 野 信 行

5 監査の対象

龍ヶ崎地方衛生組合事務局

(出席者 倉持会計管理者, 荒井事務局長, 風見事務局次長兼総務課長, 杉山参事兼施設課長, 木村総務課長補佐, 坂本施設課長補佐, 山本総務課主査)

6 監査の対象期間

令和4年1月1日から令和4年3月31日まで

7 本監査の期日

令和4年5月12日(木)

8 監査の方法

龍ヶ崎地方衛生組合2階会議室において、関係書類、諸帳簿、諸帳票類について、事務局局長ほか事務局職員より説明を受け、監査委員による質疑を行い本監査を実施した。

第2 監査の結果

1 財務事務の執行

財務事務等の執行においては、概ね適正に財務の執行及び事務処理がなされてることが確認できた。

2 その他の事務の執行

概ね適正に行われていた。

3 意見

組合においては、今後も、遅延なく事務処理を進め、予算の適正かつ効率的な執行に引き続き努められたい。また、構成市町村から受け入れるし尿及び浄化槽汚泥を円滑に処理するために必要な施設の機能保持に努め、安全かつ安定した運転が行われるよう常に留意するとともに、周辺地域の環境保全と公害防止対策に万全を期しながら組合運営に努められたい。

見積合せにおいて、組合が設定した予定価格との比較において約 1.8 倍もの大きな開きのある金額を提示し、再見積時には辞退した業者が見受けられた。以前も同様の事案が認められたが、業者選定が公正かつ適正に行われているか、圏域住民に疑念や不信感を抱かれることのないよう、今後の指名競争入札等の業者選定に当たっては、改善策を講じることを要望する。

また、委託契約事務において、指名した業者の中に構成市町村の首長の親族が経営する業者が見受けられた。受理した入札参加申請書類を確認したうえで、事務手続きを行っており問題はないとのことだが、圏域住民に対する説明責任を果たすため、引き続き公正、透明な契約事務の執行に努められたい。